

文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「赤道大気上下結合」
平成 15 年度公開ワークショップ

日 時 平成 15 年 12 月 4 日(木) 10:45 ~ 17:40 (懇親会 18:00 ~ 20:00)
5 日(金) 9:00 ~ 16:20 (総括班会議 16:40 ~ 18:00)

場 所 ホテルアソシア豊橋 (JR 豊橋駅構内)

主 催 「赤道大気上下結合」総括班

コンビーナー 小川 忠彦(名大 STE 研)、山本 衛(京大 RASC)

講演会場 5 階「楠」の間
(OHP 2 台と PC プロジェクター 1 台が準備されています)

プログラム

12 月 4 日(木)

○開会セッション (座長: 小川 忠彦)

10:45-10:55 コンビーナーあいさつ

小川 忠彦(名大 STE 研)

10:55-11:25 CPEA プロジェクト: プロジェクト概要とこれまでの成果

深尾 昌一郎(京大 RASC)

セッション 1: 赤道大気レーダーを中心とする赤道大気力学の解明 (座長: 山本 衛)

11:25-11:35 赤道大気レーダー長期連続観測のこれまでとキャンペーン観測について
山本 衛(京大 RASC)

11:35-11:50 スマトラ島における対流活動と季節内振動の観測

橋口 浩之、Tri Handoko Seto、辻野 文剛、山本 真之、深尾 昌一郎
(京大 RASC)、山中 大学(神大自然/地球観測フロンティア)、森 修一
(地球観測フロンティア)、柴垣 佳明(大阪電通大)、A. Sadeo、
M. Muzirwan、M. Kartasmita (LAPAN)

11:50-12:05 Study of climate modeling in LAPAN (tentative)

Bambang Siswanto (LAPAN)

=== 昼食 ===

13:00-13:15 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏界面近傍の大気観測

山本 真之、堀之内 武、橋口 浩之、深尾 昌一郎、山本 衛
(京大 RASC)、山中 大学(神大自然/地球観測フロンティア)、
A. Sadeo、M. Muzirwan、M. Kartasmita(LAPAN)

13:15-13:30 衛星観測と地上観測で見た熱帯季節内振動中における積雲対流の 5-10 日
周期変動とその上部対流圏に与える影響

山本 真之(京大 RASC)、庭野 将徳(京大理)、深尾 昌一郎
(京大 RASC)

セッション 2: 赤道大気レーダー高度利用技術と環境計測の研究 (座長: 佐藤 亨)

- 13:30-13:50 デジタル受信機アレイによる赤道レーダーの機能拡張
佐藤 亨、西村 耕司(京大情報学)、山本 衛(京大 RASC)
- 13:50-14:05 赤道大気レーダーにおける衛星通信回線の降雨減衰測定
前川 泰之、藤原 正、柴垣 佳明(大阪電通大)、佐藤 亨(京大情報学)、
山本 衛、橋口 浩之、深尾 昌一郎(京大 RASC)

=== 休憩 ===

セッション 3: 赤道域における対流雲発生機構と降水システムの研究 (座長: 古津 年章)

- 14:20-14:30 「赤道域における対流雲発生機構と降水システムの研究」概要
古津 年章、下舞 豊志(島根大総理工)、児玉 安正(弘前大)、
高藪 縁(東大 CCSR)、藤吉 康志(北大 ILTS)、橋口 浩之、古本 淳一
(京大 RASC)、柴垣 佳明(大阪電通大)
- 14:30-14:45 北大ドップラーレーダシステムとコトタバンの観測計画
川島 正行、藤吉 康志、大井 正行(北大低温研)、古津 年章、
下舞 豊志(島根大総理工)
- 14:45-15:00 EAR-RASS 観測による大気水蒸気プロファイル推定
古本 淳一、岩井 聡、津田 敏隆(京大 RASC)、
古津 年章(島根大総理工)
- 15:00-15:15 コトタンにおける雨滴粒径分布特性について
下舞 豊志、古津 年章、岡本 隆宏、Zainul Akramin
(島根大総理工)、森 修一(地球観測フロンティア)、橋口 浩之、
深尾 昌一郎(京大 RASC)
- 15:15-15:30 季節内変動に伴う赤道域対流システムの階層構造
柴垣 佳明(大阪電通大)、古津 年章、下舞 豊志(島根大総理工)、
森 修一(地球観測フロンティア)、藤吉 康志(北大低温研)、
橋口 浩之、山本 真之、深尾 昌一郎(京大 RASC)、山中 大学
(神大自然/地球観測フロンティア)
- 15:30-15:45 衛星降雨レーダーによるインドネシア降雨特性の解析
高藪 縁(東大 CCSR)、古津 年章(島根大総理工)、片山 勝之、
森田純太郎(東大 CCSR)

=== 休憩 ===

(座長: 高藪 縁)

- 15:55-16:10 Padang における局地風と対流活動との関係についての観測
村田 文絵(京大防災研)、橋口 浩之、深尾 昌一郎(京大 RASC)、
森 修一、濱田 純一(地球観測フロンティア)

- 16:10-16:25 インドネシア・ジャワ島西部スルポンにおける局地循環について
荒木 龍蔵(神大自然)、山中 大学(神大自然/地球観測フロンティア)、
村田 文絵(京大防災研)、橋口 浩之(京大 RASC)、
Tine Sribimawati、Mahally Kudsy、Findy Renggono (BPPT)
- 16:25-16:40 スマトラ島における雲システムの日周期海陸間移動について
櫻井 南海子(神大自然)、村田 文絵(京大防災研)、
山中 大学(神大自然/地球観測フロンティア)、橋口 浩之
(京大 RASC)、森 修一、濱田 純一(地球観測フロンティア)、
Yudi Iman Tauhid、Tien Suribimawati(BPPT)、Budi Suhardi(BMG)
- 16:40-17:10 海洋大陸における大気・海洋・陸面(生物圏)相互作用の重要性
- サラワク熱帯林での観測と TRMM 衛星観測から - (招待講演)
安成 哲三、高橋 洋、金森 大成、市川 裕樹(名大地球水循環)、
蔵治 光一(東大農)
- 17:10-17:40 インドネシア・タイを中心とする広域観測に基づく赤道大気の研究
(招待講演)
山中 大学(神大自然/地球観測フロンティア)

=== 休憩 ===

- 18:00-20:00 懇親会 (会場:「楓」の間、講演会場の隣です)

12月5日(木)

- セッション 4: 赤道域の大気波動の四次元構造とエネルギー輸送の研究(座長: 津田 敏隆)
- 9:00-9:20 A04 の研究活動と 2004 年キャンペーンの準備状況
津田 敏隆(京大 RASC)
- 9:20-9:35 赤道 MLT 領域の波動・平均風の準 2 年周期変動
津田 敏隆、中村 卓司(京大 RASC)、
R.A.Vincent(アデレイド大・物理数理学科)
- 9:35-10:05 大気大循環モデルによる、大気上下結合の研究 (招待講演)
三好 勉信(九大理)
- 10:05-10:20 コトタバンの流星レーダー観測
中村 卓司、津田 敏隆(京大 RASC)、
Thomas Djamaluddin (LAPAN)
- 10:20-10:35 Propagation of atmospheric gravity waves in the middle atmosphere observed by
airglow imaging in the equatorial and middle latitude regions」
Cristiano Max-Wrasse (ブラジル INPE)、中村 卓司、津田 敏隆
(京大 RASC)、Hisao Takahashi (ブラジル INPE)
- 10:35-10:50 積雲対流起源重力波の高度約 100km までの計算機実験
堀之内 武(京大 RASC)

=== 休憩 ===

セッション 5: 大型高機能ライダーの開発と赤道大気鉛直構造の観測(座長: 長澤 親生)
11:05-11:35 南極昭和基地におけるナトリウムライダーを用いた中間圏界面温度観測
(招待講演)

北原 司、川原 琢也、小林 史利(信大工)、堤 雅基(極地極研)、
斉藤 保典、野村 彰夫(信大工)

11:35-11:55 赤道大型高機能ライダーの準備状況と試験観測結果
長澤 親生、阿保 真、柴田 泰邦(都立大工)

=== 昼食 ===

13:00-13:15 赤道ライダー用遠隔制御システムの実用化
阿保 真、柴田 邦、長澤 生(都立大工)

13:15-13:30 赤道域観測用金属原子ライダーの開発と試験観測
柴田 泰邦、阿保 真、長澤 親生(都立大工)

セッション 6: 赤道大気エネルギーによる熱圏変動の研究(座長: 塩川 和夫)

13:30-13:50 赤道域熱圏・電離圏の観測研究 - 進捗状況 -
小川 忠彦、塩川 和夫、大塚 雄一(名大 STE 研)

13:50-14:20 HF 帯赤道横断伝搬波観測による熱圏・電離圏波動の観測 (招待講演)
丸山 隆(通総研)

14:20-14:35 赤道大気レーダーによるプラズマバブル観測の新展開
深尾 昌一郎、小澤 雄一郎、山本 衛(京大 RASC)

14:35-14:50 大気光・レーダー同時観測によるプラズマバブルと沿磁力線不規則構造の
空間構造の比較

大塚 雄一、塩川 和夫、小川 忠彦(名大 STE 研)、横山 竜宏、
山本 衛、深尾 昌一郎(京大 RASC)

14:50-15:05 電離圏全電子数観測でみたプラズマバブルの性質
斉藤 昭則、大島 浩嗣、西岡 未知(京大理)、
大塚 雄一(名大 STE 研)

=== 休憩 ===

15:20-15:50 ブラジル磁気異常帯における観測 - 沖縄データとの比較 - (招待講演)
巻田 和男(拓殖大)、N. J. Schuch (ブラジル INPE)

15:50-16:05 IMAGE 衛星による低緯度夜光(OI 135.6nm)の撮像観測
佐川 永一(通総研)

16:05-16:20 高感度冷却 CCD カメラを用いた大気分光温度フォトメータの開発
塩川 和夫、鈴木 臣、大塚 雄一、小川 忠彦(名大 STE 研)、
中村 卓司(京大 RASC)、H. Takahashi (ブラジル INPEI)、
B. P. Williams、C.-Y. She (コロラド州立大)、下舞 豊志(島根大総理工)

=== 休憩 ===

16:40-18:00 第8回 総括班会議

お願い

(1) 懇親会について

参加費: 6,000 円

11月28日(金)までに、出欠を名大STE研の大塚雄一(otsuka@stelab.nagoya-u.ac.jp、FAX: 0533-89-1539)にお知らせ下さい。

(2) ホテル「ホテルアソシア豊橋」の予約

<http://www.associa.com/tyh> から左欄の「ご宿泊」 - 「インターネット予約」をクリックして下さい。宿泊料金は、以下のとおりです。

シングル(朝食無) 6,800

シングル(朝食付) 7,800

ホテルの住所・電話番号は、

〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿 ホテルアソシア豊橋

Tel: (0532) 57-1010 (代表)

(3) 発表について

講演会場には OHP 2 台と PC プロジェクター 1 台を用意します。

(4) プロシーディングについて

特定領域研究「赤道大気上下結合」の研究成果の取りまとめの一環として、公開ワークショップのプロシーディングを作成いたします。つきましては、発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

用紙: A4 縦

ページ数: 4 ~ 10 ページ

原稿締切: 2004 年 1 月 15 日(木)

送付方法: WORD、PS または PDF ファイルを電子メールにてお送りください

あて先: 電子メール: saka@kurasc.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学宙空電波科学研究センター 山本 衛

電話 0774-38-3814

備考 白黒印刷で作成します。図面・写真は網掛け処理を願います。